

選挙へ、 行こう!!

7月10日の 参議院議員選挙は18歳から

7月10日の参議院議員通常選挙では、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられます。今回の選挙権年齢の引き下げは、満20歳以上全ての男女が選挙権を獲得した昭和20年から実に70年ぶり。なぜ、いま18歳なのか考えます。

そんな中、地方創生が叫ばれ、定住、人口の増加、出生数の増加、子育て環境の充実、働き場の確保など、働く世代のニーズを、国政にこれまで以上に取り入れることが必要となっけてきています。

これからの日本(地域)を担う存在である10代にもより政治に参加してほしい。選挙権を持つことで、「社会の担い手」という意識を早くから持ち、自らの意思で政治に関わる若者が増えて欲しいという思いが込められています。

世界の9割は18歳

世界191の国・地域のうち、実に9割近くが選挙権年齢を「18歳以上」と定めています。(日本の衆議院にあたる下院について)

中には、オーストリアのように「16歳」へと引下げている国もあります。

※国立国会図書館調査(平成26年)

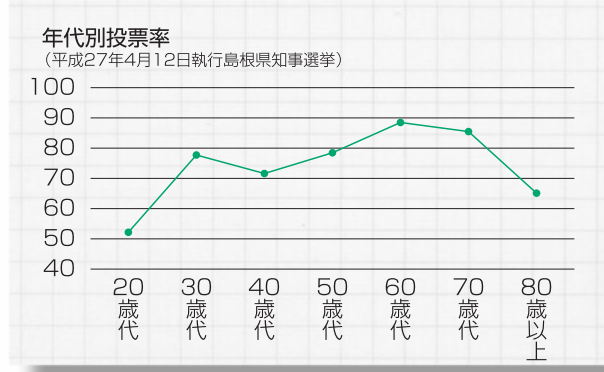
なぜ、いま18歳なのか。

少子高齢化、人口減少社会を迎えた日本。

島根県でも人口は平成26年に70万人を切りました。本町でも合併時6265人あった人口は、平成28年6月1日現在で5117人。人口に占める65歳以上の人の割合は43.2%で、少子高齢化・人口減少が進んでいます。

最近の選挙の投票率は?

平成27年4月12日に執行された、島根県知事選挙の投票率を見てみましょう。



票区のうち、町全体の投票率77.35%に最も近い投票率の投票区(1カ所)の投票率です。

最も投票率の高い60歳代が87.50%であるのに対し、20歳代は53.13%という結果でした。

この傾向は全国的にも同じで、直近の国政選挙平成26年12月14日執行衆議院議員総選挙の投票率は、60歳代が68.28%であるのに対し、20歳代が32.58%でした。

若者の投票率の向上が必要

若者の投票率が低くなると、若者の声は政治に届きにくくなります。投票率の高い世代向けの政策が多くなってしまいう可能性があるためです。

その結果、若者向けの政策が実現しにくくなったり、実現するのに時間がかかったりする可能性があります。

選挙権年齢が18歳以上に。 高校生はどう思う?

今回の参議院議員選挙から選挙権を得る、飯南高校3年生の中から、井原舞華さん、津和野勇貴さん、本田好さん、道下聖也さんの4名にお話を聞きました。



津和野勇貴さん

道下聖也さん

Q 政治・選挙に関心がありますか?

A 少しは興味がありますけど、専門用語や内容が難しく... ニュースも見るのは至能ニュースなどが多くて、政治関係のものを見るのが少ないです。でも、将来の仕事のことを考えると勉強しないといけないと感じています。

やっぱり、私たちの身の回りに起きているという実感がもてにくいので、意識的に知ろうとしないと、知ることができないですね。普段の生活の中で自然にというわけにはいかなにか。

Q 投票の仕方が分かりますか?

A 昨年、学校で模擬選挙をしたので雰囲気は分かります。模擬選挙では、事前に入場券が配られ、受付も設置しました。投票内容は、学校に関するもので、自動販売機を増やしてほしいとか、夏休みを長くしてほしいとか、生徒が提案した身近な内容なのでワクワクしました。

Q 若者の投票率が低いことに対してどう思いますか?

A 自分が投票したところで何か変わるわけではないと思って、行かない若い人は多いと思います。もちろん仕事が忙しいというところもあると思います。良いか悪いかで言ったら悪いと思います。でも、関心がないままで、まあこの人でもいいやと適当に投票してしまう人もいるかもしれませんよね。そういう人が増えるとしたら怖いなと思います。

Q どんなことしたら投票率が上がると思いますか?

A 図やマンガとか、最近の動画もありますよね。高校生が興味を持ったために、政治をアニメにするというのも面白いかも。18歳、19歳の人にとって投票

にどんなメリットがあるのかが分かると思います。

Q 選挙に行きますか?

A 法改正されて初めての選挙。記念すべき1回目に私たちは投票できます。責任をもって投票したいと思います! 1番乗りで行きたいです!



本田好さん

井原舞華さん

どんな選挙があるの?

- 国の選挙**
- 衆議院議員総選挙 (小選挙区選挙と比例代表選挙)
 - 参議院議員通常選挙 (選挙区選挙と比例代表選挙)
- 都道府県の選挙**
- 都道府県知事選挙
 - 都道府県議会議員選挙
- 市区町村の選挙**
- 市区町村長選挙
 - 市区町村議会議員選挙

今回はこれ!